

救命救急センターの拡充について

中央市民病院では、救急医療をさらに充実させるため、下記のとおり、5月1日に第2救急病棟を開設しますので、お知らせいたします。

【背景】

当院では、三次救急医療に対応する救命救急センター（50床）として、年間6,800人の救急入院患者、8,652件の救急車搬送を受け入れています。

新病院移転（平成23年7月）後も、救急入院患者数は増加傾向にあります。また、救急受診患者の内、入院となる患者の割合も増加するなど、患者の重症化が進んでいます。

救命救急センターのより一層の充実を図り、神戸市の基幹病院として、「断わらない救急医療」を実践していきます。

記

1. 供用年月日

平成28年5月1日（日）

2. 設置場所

神戸市立医療センター中央市民病院 救命救急センター（救急外来近傍）

3. ベッド数

救命救急センター全体では50床から54床になります。

4. 効果・目的

救命救急センター全体の円滑な病床運営を確保することによって、より良質かつ効率的な医療サービスの提供に努めます。

5. 第2救急病棟 写真



【参考 1】中央市民病院の概要・業務実績

(1) 病院概要

病床数	700 床（一般 690 床、感染 10 床）
沿革	<p>大正 13 年 3 月 市立神戸診療所（長田区三番町）及び神楽分院開院</p> <p>昭和 28 年 10 月 生田区加納町に本院を新築移転。従来の病院は長田分院となる。（本院病床数：50 床 本院診療科数：9）</p> <p>昭和 56 年 3 月 中央区港島中町に本院を新築移転。（病床数：1000 床【一般病床 962 床・伝染病床 38 床】診療科数：20）</p> <p>平成 21 年 4 月 地方独立行政法人神戸市民病院機構へ移行</p> <p>平成 23 年 7 月 中央区港島南町に新築移転。（病床数：700 床【一般病床 690 床・感染病床 10 床】診療科数：32）</p>
機能	救命救急センター、地域医療支援病院、総合周産期母子医療センター、がん診療連携拠点病院、臨床研修指定病院、災害拠点病院 等
手術室	18 室

(2) 平成 27 年度 業務実績

外 来	外来患者数	478,070 人
	1 日平均外来患者数	1,968 人
入 院	新入院患者数	21,559 人
	1 日平均入院患者数	638 人
	平均在院日数	10.8 日
	病床利用率	92.5%
救 急	救急外来患者数	33,439 人（37,066 人）
	救急入院患者数	6,800 人（6,390 人）
	救急車搬送件数	8,652 件（8,365 件）
手 術	手術件数	12,544 件 （外来）3,627 件 （入院）8,917 件
紹介・逆紹介率	紹介率	57.4%
	逆紹介率	111.8%

※（ ）は移転前（平成 22 年度）の救急患者受入実績

【参考2】病床数内訳

		現 行	H28.5.1～
救命救急 センター	E-ICU・CCU	14床	14床
	救急病棟	36床	32床
	第2救急病棟	—	8床
	小 計	50床	54床
上記以外の一般病床		640床	636床
感染症		10床	10床
合 計		700床	700床